

台風19号災害 林道・ワサビ田 被害状況 特集号



奥多摩町役場 〒198-0212 奥多摩町氷川 215-6 ☎0428-83-2111 FAX0428-83-2344 <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

台風19号災害に伴う町の対応について

令和元年10月12日から13日にかけて関東地方を通過した台風19号は、町内全域に被害を及ぼしました。台風の被害状況については、広報おくたま11月号でもお知らせしましたが、普段の生活ではあまり見えない場所での被害もありました。中で

も、各地域の「林道」や町の特産物である「ワサビ」を栽培する「ワサビ田」への被害は特に甚大でありました。このため、町が管理する各地域の「林道」および、ワサビ生産者が所有する「ワサビ田」の被害状況を住民みなさんにお知らせするとともに、その復旧に向けてみなさんのご理解とご協力をいただき、引き続き「安全」「安心」の町づくりを展開すること、住んでよかったと思われる町づくりを推進してまいります。

林道の被害状況

町で管理している林道は、作業道を含め29路線あり、ほぼ全路線が被害を受けましたが、特に寸庭線・大丹波線・名坂線・白丸線・安寺沢線・西川線の6路線は、被害が甚大でありました。

また、

寸庭線、大丹波線および名坂線については今年度内に全路線の復旧は困難なため、来年度以降も計画的に復旧作業を行います。

林道全体に掛かる復旧費用の総額は、令和4年度までに、概算で4億円を見込んでいます。

【寸庭線林道】

延長 2197m

路線全域に路面洗堀、土砂崩れがあり、起点から1.7km先については、路側構造物崩落により通行は不可。



▲寸庭線林道・路側構造物崩壊（起点から1.7km）
（白く見えるのはガードレール）

〔復旧計画〕
令和元年10月～令和4年度見込み

〔概算事業費〕
1億2000万円
（次ページへ続く）



▶大丹波線林道・路側崩落 (起点から100m)



▶寸庭線林道・路面洗堀
(起点から1km)
(中央オレンジ色は町職員)



【大丹波線林道】

延長 L114225m

起点から100mと約1.6km地点で大規模路側崩落があり、1.6km以降は、未舗装部の路面洗堀、土砂崩れが複数箇所あり通行は不可。

〔復旧計画〕

令和元年10月～令和3年度内

〔概算事業費〕

1億円

【名坂線林道】(大丹波地区)

延長 L11268m

林道起点部の路側崩落、沢閉塞の影響による土砂流入があります。

起点部の路側崩落のため、通行は不可。

〔復旧計画〕

令和元年10月～令和3年度内

〔概算事業費〕

6千万円

※林道に関する問い合わせは、環境整備課

☎ 83・2317



▲大丹波線林道・路側崩落 (起点から1.7km)

▶名坂線林道・路側崩落 (起点部)



ワサビ田の被害状況

145箇所

約23億6千万円

町では、奥多摩山菜栽培組合や耕作者のみならず、今年度から令和3年度までの3か年をかけて、全面的な復旧を推進してまいります。（今後の調査により箇所数や金額は増える可能性があります）

〔被害報告のあった

ワサビ田〕

（小河内地区）

茂久保谷、峰谷沢

（氷川地区）

小中沢、栃寄沢、川乗谷、寺地沢、安寺沢、除ヶ沢、大沢入、海沢

（古里地区）

越沢、西川、寸庭川、沼沢、梨木沢、真名井沢、アメノ沢、権治入沢、細ヶ谷沢、槇の尾沢、ヒイラギダチ沢、日向小屋、イドチ沢、大丹波川、竹沢



▲氷川地区（海沢）被災後



▲氷川地区（海沢）被災前



▲古里地区（西川）被災後



▲古里地区（西川）被災前

☎ 83・2299

※ワサビ田に関する問い合わせは、観光産業課

▶小河内地区(峰谷)被災後



▶小河内地区(峰谷)被災前



「おわりに」

今回の台風19号に伴う災害は、停電・断水・各地域の生活道路への土砂の流出、町の代表的な特産物である「ワサビ」などに甚大な被害を及ぼしました。

おそらく、これほどの台風被害は、今まで町が経験したことのないほどの規模で、居宅への土砂の侵入を近隣の皆様により排除いただいたり、また、断水時において、高齢者の世帯にポリタンクの水を届けていただくなど、改めてこの町の強い「絆」を認識するとともに、住民皆様にはこの場をお借りして改めて感謝を申し上げます。

特に、町の特産物である「ワサビ」を栽培する皆様にとっては、その土台となる「ワサビ田」が

甚大な被害に見舞われ、改めてお見舞い申し上げます。

「奥多摩ワサビ」の歴史と伝統は、奥多摩町の「誇り」でもあり「自慢」でもあります。

私は、毎年「奥多摩ふれあいまつり」に出品され、「東京都知事賞」を受賞されたワサビを直接、都知事にお渡しをしておりますが、歴代の都知事からは、「大変美味しかった」、「風味が素晴らしい」と絶賛されております。

今回のワサビ田の災害復旧は、国から「激甚災害指定」を受け、国や東京都からの補助金も受けられますが、自己所有であるワサビ田においては、100%の補助が得られず、応分の所有者負担金が生じてまいります。

今回の台風19号による

被害は、過去に例のないほどの規模であり、また、高齢化や後継者不足が進行するワサビ栽培者にとっては、自己負担の生じる災害復旧は、経済的にも重い負担となり、復旧を断念せざるを得ない状況も考えられます。

このため、町では、今回の「ワサビ田」の災害復旧に対しましては、今後数年かけ計画的に継続実施をして完全復旧を図るため、都と連携し財源確保を図り推進するとともに、ワサビ田所有者の自己負担が生じないよう所有者の自己負担分を町が全額補助することといたします。

現在、日原地域の住民皆様には、日原街道の崩落により、引き続きご不便とご迷惑をおかけしておりますが、町では、現在も町内全域にわたる台風被害の全容把握に努め

ており、一日も早い復旧に努めてまいります。

今回の台風19号の襲来は、町にとっても大変厳しいものでありましたが、幸いに町内においては、人身被害はありませんでした。これも住民皆様の「自助」「共助」のおかげであります。

今後も、住民・議会・町が「ワンチーム」になって、引き続き「災害に強い町づくり」「安全・安心の町づくり」を推進してまいります。

令和2年1月25日

奥多摩町長 河村 文夫

